

## 事業報告書（令和4年度）

事業名 未来の子どもたちへ、ママさんの子育てがしやすくなる啓発活動プロジェクト

団体名 未来をつなぐ子どもたちへ Désir 担当者名 小松好美

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）
6月25日10時～ ハナレキッズ 小学生と親 10組 大切ないのち・大切なじぶん～生まれてきてくれてありがとう～ 講師 東海林みゆき
9月26日11時～ ル・メルシェ 産後ママ 4名 産後ママダイエットレッスン 講師 寺崎由美子
10月26日11時～ ル・メルシェ 子育てするパパ・ママ8名 ポコアポコカードリーディング付き パステルアートセラピー 講師 小笠原真紀子
11月14日11時～ ル・メルシェ 子育てするパパ・ママ20名 教育を考える交流会
12月20日19時～ ル・メルシェ 高校生4名 教育関係者12名 高校生とおとなの交流会
1月28日13時～ ル・メルシェ 高校生4名 審査員4名 関係者6名 食品ロス削減ロゴコンテスト
2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか 全てのイベントを通じて、皆さまに自己肯定感向上 前向きな思考回路となり、特に子どもたちに関しては変化が早い 下を向いていた子どもたちが上を向き、きらきら輝く笑顔になる
② どのように学び合いを取り入れたか 子どもも大人も学びが必要なこの昨今。 自分事に落としてもらえるよう、対面で身近に学びを得ていただけるような企画を 計画しました。

<p>③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p> <p>ママが子育てしやすくと思い、始めはママさんパパさんにアプローチをしていたが、子どもたち自身が色々なことに挑戦することで、自己肯定感が向上。不登校だった子が前向きに登校し始め、先生からも意見が出てくるようになったと成績向上に繋がる。そんな子どもたちが増え、子どもたちの意識が変わったと、私と携わった子どもの親子さんからも感謝のお言葉をいただきました。</p>
<p>3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）</p>
<p>当初計画していたこととはがらりと変わりました。しかし、未来を担う子どもたちが自分らしくありのままに、これからの道のりを歩み始める伴走をさせていただくことがとても重要だと気づきました。そんな伴走には、私だけではできなかったことも未来を担う子どもたちのこと、教育のことを真剣に考えている周りの大人たちにお手伝いをさせていただき、目標を達成できたと思っています。</p>
<p>4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）</p>
<p>これからは、キャリア教育が必要だと言われています。</p> <p>夢や希望を持つ子どもたちが少ない現代。夢を持つ子どもたちが増えると、大学生自殺率の減少、そして、持続可能に企業で働く学生が増えると思います。これをやると決めて、就職するとやる気のある社員が増え、周りの社員の意識向上にも繋がる。そして、売り上げが伸びて経済も向上することでしょう。また、県外に大学進学した大学生が岡山にリターンし、岡山の企業で働きたいと思えるような会社作りも求められていると思います。そんな企業が増えれば、岡山の活性化に繋がっていく。そんな岡山の街づくりに務めるべく、来月 4 月から高校生主体の未来 ESD プロジェクトを始動させていただきます。また、キャリア教育プロジェクトも高校生を巻き込んで、6 月から開始予定です。</p> <p>未来 ESD プロジェクトは、高校生主体となり、自分が本当にやりたいことができる持続可能に働ける企業探しの HP を作成。そして、自分のやりたいことがなければ、起業支援など、色々な企業や高校生とタイアップさせていただき、就活難と言われている大学生になる前に、色々な大人の姿を見せられる企業バスツアー、また社長との交流会などを計画中です。そして、HP 作成に必要なライター業、動画撮影や編集、モデル業、イベント企画など、普段高校では経験できないことを学んでいただき、本当に将来自分のやりたいことをお仕事にできるよう、私たちが伴走していきます。</p> <p>キャリア教育プロジェクトは、キャリア教育の一貫として高校生の起業支援を行います。まずは、第 1 回目としてクラファンを計画中です。クラファン達成後は、社会課題解決に取り組むべく、商品開発をして課題解決の啓発活動をし、社会貢献を目指します。</p> <p>これからの岡山は、少子化である日本の子どもたちを宝物のように思い、本当にこれからやりたいことを引き出し、伴走することが必要です。そうすることで、経済が周り、家庭が豊かになり、もっと子どもを産みたい方が増え、少子化問題も解消。老後の年金問題も</p>

(様式第8号)

不安解消となるでしょう。岡山の活性化は、未来を担う子どもたちの教育を変えていくことが必修です。